必要な言葉だけサクッと解説

FX用語解説

目次

- レバレッジ
- 証拠金
- ロット
- Pips（ピプス）
- スプレッド
- 注文時の用語

レバレッジ

- レバレッジとは？？

  「てこの原理」の「てこ」を意味する。

  →少ない資金でより大きな金額の運用が可能となる制度

  国内では規制が厳しくなる傾向にある。
  2018年１月現在で25倍だが、
  １０倍へ引き下げるという動きがある。

  海外では規制はなく200倍や1000倍などという証券会社もある。

レバレッジ

- レバレッジは危ない？？

  レバレッジは危ないと思われているが、大きな誤解である。

【例】25倍の証券会社なら4万円で100万円を動かすことができる。

「損失も25倍では！？」と、危険のように思うだろうが、
「負け＝100万円を失う」ではない←ここが大きな勘違いを生む。

仮に【米ドル／円】のFXで100万円分を動かした時、
単純計算（1ドル＝100円）で考えたら損益変化は100円ずつになる。
つまり、例えば「12,300円でやめておこう」等と設定することも可能。

※実際には瞬時のレート変化などで多少の誤差は生じる。

証拠金

- 証拠金とは？？

  レバレッジをかけた取引を行うために、
  証券会社へ預ける預託金。

  わかりやすく言えば担保のようなもの。
  注文するたびに一定の証拠金が一時的に凍結される形になる。

  例えば25倍の証券会社であれば、
  1万ドル分の外貨を買おうとするとき、1ドル=100円なら、
  本来は100万円必要になるが、レバレッジ制度によって
  4万円の証拠金を預けることで取引が可能。

ロット

- ロットとは？？

  取引数量の通称。1ダースなどと同じようなイメージ。
  1ロット＝10万通貨などという風に証券会社が決めている。

- 「通貨」という単位の意味は…？」

  例えば「1万通貨」というと、
  USD／JPYでは、1万ドルのこと。
  EUR／USDでは、1万ユーロのこと（左側の通貨が基準）
  →詳細は徐々に覚えて行けばOK！

Pips（ピプス）

- Pipsとは？？

  レートの最小単位のこと。

  円がからむ通貨ペアなら、0.01が1pipと呼ばれる。
  それ以外の通貨ペアは、0.0001が1pipとなる。

  これによって、どの通貨ペアでもpipsという単位で
  「いくらの損益変化があるのか」等を
  簡単に計算することが可能となる。

Pips（ピプス）

【例】

USDJPYのレートが100.00円から100.05円へ動いた場合、
「5pips動いた」と言う。

ロットを1万通貨（ここではイコール1万ドル）注文している場合、
基本は1pips動くたびに100円の損益変化になる。

上記のように、1万通貨の買いを注文している状態で、
USDJPYが100.00円から100.05円へ動いた場合、
【5pipsの利益＝500円の利益】となる。

スプレッド

- スプレッドとは？

一言で言えば、買値と売値の差額のこと。

世の中のあらゆるモノは、
買う時の値段と売る時の値段が違う。

例えば車を100万円で購入し、
すぐさまそれを売却しても同額では売れないのと同じ。

売る時は70万円などになるかもしれず、
この差額（30万円）が業者としては利益になる。

スプレッド

- FXでも同様

FXでもこれは同じで、
買う時のレートと売る時のレートは違う。

例えば、USDJPYを100.00円で買ったとしても、
その時点ですでに売値は99.97円などという風に、
売値のほうが安く、買値のほうが高く設定されている。

この時、100.00円と99.97円の差である
0.03円＝3pipsがスプレッドとなる。

注文時の用語

- 買いと売りはそれぞれ3種類ずつある

【買い】
今すぐ買う→成行（なりゆき）の買い（＝buy）
下がったら買う→指値（さしね）の買い（＝buy limit）
上がったら買う→逆指値（ぎゃくさしね）の買い（＝buy stop）

【売り】
今すぐ買う→成行の売り（＝sell）
上がったら売る→指値の売り（＝sell limit）
下がったら売る→逆指値の売り（＝sell stop）

★有利な位置で売買するのが指値（limit）と覚えると良い。